

令和6年度 学習の指針(シラバス) 野田市立第一中学校

◎学年(2)学年

◎教科(英語)

使用教科書	東京書籍 NEW HORIZON ENGLISH COURSE 2		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 はっきりと話されれば、日常的话题について、話の概要を聞き取ることができる。 2 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の概要をとらえることができる。 3 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。 4 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。 5 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を書くことができる。 		
学習計画	前期	4月 1年時の復習(be 動詞、一般動詞の過去形、過去進行形、There is の文)、 未来表現の用法 5月 5つの文構造、接続詞の用法、許可を求める表現、依頼する表現 6月 不定詞の用法(名詞・副詞・形容詞的用法) 7月 不定詞の応用表現、未来の自分に対してメッセージを書く、 History of Clocks(文章読解) 9月 天気予報、助動詞(have to・must など)、動名詞	
	後期	10月 手紙の書き方、疑問詞+to、 11月 道案内の表現(電車)、比較表現の用法、more・most を伴う比較表現、 better・best を伴う比較表現 12月 買い物の表現、人気調査をし、結果を発表する、A Glass of Milk(文章読解) 1月 CM を聞きとる、受け身表現の用法、世界遺産についての紹介 2月 電話表現(誘う・断る)、店内放送の聞き取り 3月 自分のおすすめの場所の紹介、Pictures and Our Beautiful Planet(文章読解) 2年生の総復習	
主な活動形態や使用教材など	【主な活動形態】 個人活動、ペアワーク、グループワーク ＊ねらい、内容に応じて適切な形態をとり、活動します。 【主な使用教材】 デジタル機器(デジタル教科書、eラーニング教材等)、ワーク、ノートなど ＊ねらい、内容に応じてより効果的な活用方法を選択していきます。		
評価の観点別内容や評価の方法	観点	評価の内容	評価の方法
	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能が身についているか。	・定期テスト ・単語テスト ・単元テスト ・授業観察 等
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができるか。	・定期テスト ・パフォーマンステスト ・コミュニケーション活動 ・授業観察 等
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。	・パフォーマンステスト ・コミュニケーション活動 ・振り返りシート ・提出物 ・再テスト 等
学習についてのアドバイス	【授業では】 ・授業では、間違いを恐れず積極的に英語を使いましょう。 ・ペアワークやグループワークでは、仲間と協力して、意欲的に取り組みましょう。 ・「聞く」「読む」「話す」「書く」の4つの技能をバランスよく習得するために、一つひとつの活動において、特にどの技能に重点を置いているかを意識しましょう。 ・わからないことがあったら、その日のうちに先生や友達に聞いて解決しておきましょう。 【家庭では】 ・学習した内容は、その日のうちに復習しておきましょう。 ・単語や本文を何度も読んだり、ノートに繰り返し書いたりすることで、書く力を身につけていきましょう。発音しながら書くのが効果的です。毎日短時間でも、続けることです。 ・英語は「積み重ねの教科」と言われています。ある単元が理解できないとその上に積み上がる単元も必然的にわからなくなってしまう。英語が苦手だと感じている人は、過去の単元にさかのぼって復習しましょう。 ・学習者用デジタル教科書や教科書のQRコード等は家庭でも活用できるので、ぜひ取り組んでください。		